

第 1 回 学校運営協議会まとめ

第 1 回の学校運営協議会は、コロナ感染症まん延防止の観点から書面開催となりました。いただいたご意見をまとめさせていただきます。

【学校経営計画についてのご意見・感想】

① どうしても「1 確かな学力の育成と授業改善」で、オンライン授業に関心がいきます。ウィズ・コロナとかアフター・コロナといわれるように、まず企業が変わり始めテレワークを続ける企業もでてきました。高校では N 高校、大学ではサイバー大学(文科省認可ソフトバンクグループのインターネット大学である)がありましたが、このような流れが加速されるかもしれません。大学でも春学期終了後遠隔授業アンケートを授業評価アンケート共に実施して、今回の経験を総括する予定です。

「2 安全で安心な学校づくり」では、「自立支援コース」生徒の交流事業は、多様な人と接する貴重な機会だと思います。

4 の情報発信も例年とは異なる形でのオープンスクールや学校説明会になると思います。大学で 2 度ほど行ったオンライン・オープンキャンパスでは遠方の方の参加があったりするなど、従来とまた違ったことが起こってきます。

引き続き中期的目標に従って進められることを希望します。

② 今年度は、新型コロナの影響ですべての計画や取り組みが変更を余儀なくされ、学校運営をスムーズに進めることが難しい年になってしまいました。そんな中でも、生徒たちが安全・安心に学校生活を過ごせる対応をしながらも、ICT 環境を最大限に発揮できる準備を進めておられることにたいへん感心しています。堺市長の公約では、中学校には 2 学期中に全生徒にタブレットが配られる予定ですが、環境の整備もままならないままのスタートになって大丈夫かと危惧しています。また、機会があればオンライン授業のノウハウを勉強させていただければと思っています。

③ ICT 環境整備には様々な問題が発生すると思います。特に無線 LAN アクセスには、速度や接続が時々によって異なるトラブルも多く聞かれます。本年度のコロナ対策で先行できるところは早めにすすめて頂き、令和 3 年度のスタート時にスムーズに開始できるよう期待いたします。

その他行事の縮小や外部との連携がむずかしい年度になりますが、こちらも ICT を活かし、保護者や中学生に発信できるツールを積極的に取り入れていただきたいです。

④ 今後、新型コロナ感染症の第 2 波が起これば休校が余儀なくされたときに備え、「オンライン授業」のリハーサルを行ってみてはどうでしょうか？臨時休校になったときに即対応できるよう、全校生徒の家庭のインターネット環境を把握しておく必要があると思います。

通学時の安全確保という点で、先生方が毎朝安全指導を行っておられることは地域住民からも好意的な意見も多くあります。しかしながら、一部の保護者の方の生徒送迎については、毎年学校に改善をお願いしております。特に雨天では住区内で車の乗り降りをされるため、住居前での駐停車、通行の妨げなどが多数みられます。礼儀正しい生徒さんばかりなのに、保護者のこのような行動は残念でなりません。学校側からも注意喚起の強化をお願いいたします。

→ 「さくら連絡網」を用いて車送迎の自粛と住宅地への乗り入れ禁止を全保護者に周知しました。今後も HR 等でも機会あるたびに注意喚起を続けていきます。また、全生徒のネット環境の把握は済んでおり、オンライン授業(グーグル クラブルーム)については準備中で、一部の科目では授業での活用も始まっています。

⑤ COVID-19 のため、計画していた諸々の事が予定通りに進まないであろうことが予想され、すでに計画変更を余儀無くされているものもあると思いますが、計画にとらわれることなく柔軟な思考で目標達成に向けて大変ですが、取り組みをお願いします。

1. 予算の問題もあるでしょうが、少しでも前倒して取り組みをお願いします。
2. 登下校の安全確保は生徒一人ひとりの自覚も大切ですが、環境整備も大事です。引き続き市との連携をお願いします。
3. インターネットの活用が各大学等でも進んでいると思いますが、情報提供等よろしくお願い致します。
4. 無理のない範囲で、文化祭、体育祭等の実施に向けてよろしくお願ひいたします。

⑥ 『1.確かな学力の育成と授業改善』の項目でございます ICT に関連する情報について記載させていただきます。現在、コロナウィルスによる休校等の影響により、全国的に ICT 活用が注目されております。関西の学校様でも ICT を活用した「授業の効率化」及び「個々の学習スキルの向上」を目的に取り組まれております。貴校での ICT を活用した学力向上の取り組みに期待したいと感じました。

【現状報告についてのご意見・感想】

① 次から次とくる教育庁からの通達に対して、実にきめ細かく対応されておられることに敬意を表します。大学でも久しぶりに登校してきた学生さんは、友人や先生と会って嬉しく思っているようです。学校は生徒、学生あつての学校だと痛感します。

大阪でもあちこちの大学で、新型コロナに感染した学生が出てしていると報道されています。幸いどこも大学内での感染ではないようですが、いくら対策をたててもリスクはゼロにはなりません。ただ学内でクラスターはふせがなければなりません。貴校でも作成されていると思いますが、大学では、教職員や学生に感染したときの対応をマニュアル化しています。(帝塚山では保健所等対応は法人に一元化しています。)

② 中学校も同じで、先の行事についてはいろいろと判断が難しいと思います。コロナの状況が今後どのように変わっていくのかが予想がつかない中で、どこかで思い切った判断をしなければならない、というのがしんどいところですね。

中学校では、いじめや SNS など様々な生徒指導課題がありますが、堺東高校ではどのような課題がありますか？現在の高校生の現状についても教えていただけると嬉しいです。

→ いじめは許されないことや SNS の利用上の注意については、集会や HR でも注意しています。他の課題としては、自転車通学のマナーや事故防止についても同様です。

③ 新型コロナ感染予防対策については、有効な「治療薬」と「ワクチン」ができるまでは、現状のできる限りの感染予防対策を続ける以外にないと思います。またこれを機に、コロナ前のムリ・ムダ等の課題を見つけ出し、コロナ後も定着できるようにしていけば、より効率化がはかれるのではと思います。

④ COVID-19 の対策のため、通常ではない対応をしていただきありがとうございます。

教職員の皆様は今まで以上にまた、新たな対応に向けてご苦労されていることと思います。

その中で、学校本来の活動に向けて工夫をこらし、少しでも堺東高校生として充実した学校生活を過ごすことができるように頑張っている様子が見てとれました。

校内だけでの対応や検討可能なものから、府や教育庁からの指示で対応する必要があるものまで種々あるかと思ひます。

少しでも学校生活が実りのあるものとなるように引き続き対応をお願いいたします。

今後も予測できない事態が起こらないとも限りません。大胆にかつ繊細な注意を持って各学年、クラブ活動、学校行事などに取り組みをよろしく願います。

何が正解かわからないなかで、決断する事が引き続き多くあるかと思いますが、自信を持って決断した事が正解だと思います。

後々、生徒が今回のことを人生の中での一コマとして大変だったけど前向きに捉えることができるような、支援、指導をよろしく願います。

また、教職員の方々にとっては非常にご苦勞をなされていることとおもいます。

同窓会にとっても新たな活動を模索しているところです。また、同窓会としてご協力はできるだけさせていただくつもりです。これからもよろしく願います。

⑤ 臨時休校中のご対応、たくさんのご苦勞があったと思います。可能な限り最大限の対策であたっただけだと思います。保護者を代表してお礼申し上げます。ありがとうございました。不安な中ではありましたが、段階を経て無事に学校生活に戻ることができたと子どもも喜んでおりました。

気になった点として、消毒について、次亜塩素酸ナトリウムを用いたとありますが、濃度はどのくらいだったのでしょうか？500ppm 程度ないと効果が得られないので、現状も使用されているのであれば、ご確認いただければと思います。あと、手洗い場の石鹼は感染予防にはかなり危険です。ポンプ式のハンドソープに変更されることをおすすめします。

→ 濃度は 500ppm 以上あります。校舎内はポンプ式のハンドソープです。国のガイドラインに基づき、乾燥が見込まれるランド等の手洗い場には、ハンドソープに加え、石鹼も少し置いています。

⑥ 今年度はコロナウィルスの影響により夏休みや冬休みの短縮や土曜授業から例年並みの授業日数の確保が出来たとご記載がございましたが、今年度は長期休暇の学習の取り組み方が例年のようにできないため、例えば夏休みの学習計画は 8 月全体で計画を立て、日頃から平日と休日の学習スタイルの確立を意識することが重要であると感じました。

また、コロナウィルスによる影響から今年度は特に生徒様の生活習慣・学習習慣の徹底が重要であると感じました。例えば、2 年生では休校期間が長期化したことや授業の遅れもあるため、1 年生の学習内容の復習をすることや、3 年生では例年の受験状況と異なる状況であるため、より戦略的に受験の計画が重要であると感じました。